

甚目寺小校内研修 情報モラルについて

H. 27. 7. 16

今日は、甚目寺小校内研修として、「情報モラル」研修を行いました。講師は、甚目寺小職員のM教諭でした。愛知県総合教育センターで研修を積み、その成果を私たちに伝えていただきました。

研修内容は、子どもが遭遇する情報モラルに関する事件にどう対応するかです。甚目寺小の職員が4つのグループに分かれ、それぞれ違う事例をもとにB紙にまとめ、それをポスターセッションで報告しました。

例えば、一つの事例として次のような内容を検討しました。

小学6年生のKさんは、最近学校へ行っていない。無料通信アプリ上のいじめが原因です。Kさんは小学5年生の4月に、無料通信アプリの中で作っているクラスのグループに登録しました。クラスの連絡用に使われていましたが、ある日、連絡の意味が分からなかったため、「は？」と書いたのがきっかけで、「偉そう」とか「態度デカ」、「うざい」などとかかれるようになりました。6月頃からは毎日夜を中心に「学校に来るな」「一回死んだら」などと次第にエスカレートし、大量に書き込まれました。

しかし、学校では誰も直接的ないじめの言動はないため、先生には分からなかったようです。誰にも相談できなかったKさんは人間不信になり学校を休み続けています。

この事例に取り組んだグループが作ったポスターセッション用のポスターが下記の物です。



【上の事例を基に作ったポスター】

ハード面とソフト面で対策を検討しました。ハード面（約束事）では、家庭と学校で出来ること。ソフト面（人間形成）では、教員や子どもが努力すべきことに分けて、それぞれ付箋紙に書いていきました。そして、それを他の班の人に説明し、意見をいただきました。



【ポスターセッションの様子】



【甚目寺小職員が作った他の事例のポスター】

職員同士の研修でしたが、M教諭の指導で大変充実した研修となりました。情報モラルは現在喫緊の課題となっております。我々教員は、先手を打って対応していきたいと思います。情報モラルで悩む子がない学校をめざしていく覚悟です。